

今週のお祈り 復活節第3主日特禱

神よ、誉れあるみ子は、パンを裂くみ姿のうちに、ご自身を弟子たちに示されました。み恵みによって、わたしたちの信仰の目が開かれ、躺いのすべてのみ業のうちに主を見いだすことができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 比ちようがっこう  
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1  
でんわ: 03-3710-6031

号外 297

発行日  
2026年  
4月19日

今週の聖書 ルカによる福音書 24:13-35

13 この日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村に向か  
って歩きながら、14 この一切の出来事について話し合っていた。15 話し合い論じ合っていた  
と、イエスご自身が近づいて来て、一緒に歩いて行かれた。16 しかし、二人の目は遮ら  
れていて、イエスだとは分からなかった。17 イエスは、「歩きながら、やり取りしているそ  
の話は何のことですか」と言われた。それで、二人は暗い顔をして立ち止まった。18 その  
一人のクレオパと言う人が答えた。「エルサレムに滞在していながら、ここ数日そこで起こ  
ったことを、あなただけがご存じないのですか。」19 イエスが、「どんなことですか」と言  
われると、二人は言った。「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行  
いにも言葉にも力のある預言者でした。20 それなのに、私たちの祭司長たちや議員たち  
は、死刑にするため引き渡し、十字架につけてしまったのです。21 私たちは、この方こそ  
イスラエルを解放してくださいと望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、  
もう今日で三日目になります。22 ところが、仲間の女たちが私たちが驚かせました。女  
たちが朝早く墓へ行きますと、23 遺体が見当たらないので、戻って来ました。そして、天使  
たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言っています。24 それで、仲間の者が何  
人か墓へ行って見たのですが、女たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでし  
た。」25 そこで、イエスは言われた。「ああ、愚かで心が鈍く、預言者たちの語ったことす  
べてを信じられない者たち、26 メシアは、これらの苦しみを受けて、栄光  
に入るはずではなかったか。」27 そして、モーセとすべての預言者から  
始めて、聖書全体にわたり、ご自分について書いてあることを解き明か  
された。28 一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうと  
される様子だった。29 二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方  
になりますし、もう日も傾いています」と言って、無理に引き止めたの  
で、イエスは共に泊まるために家に入られた。30 一緒に食事の席に着い



たとき、イエスはパンを取り、祝福して裂き、二人にお渡  
しになった。31 すると、二人の目が開け、イエスだと分か  
ったが、その姿は見えなくなった。32 二人は互いに言った。  
「道々、聖書を読み明かしながら、お話しくださったとき、  
私たちの心は燃えていたではないか。」33 すぐさま二人は

私たちが心は燃えていたではないか。」33 すぐさま二人は  
立って、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が  
集まって、34 主は本当に復活して、シモンに現れたと言っ  
ていた。35 二人も、道で起こったことや、パンを裂いてく  
ださったときにイエスだと分かった次第を話した。

聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

どうして毎週教会に来るのかな？実は教会にはみんなを  
待っている一番大切な方がいる。それは復活したイエスさま。  
イエスさまが復活した日に、二人の弟子が悲しみながら歩い  
ていた。そこへイエスさまが近づいて、一緒に歩き始めた。し  
かし、二人はそれがイエスさまだとは気づかなかった。でも、  
イエスさまが聖書のお話をしてくれれば、二人の心はだんだ  
ん熱くなった。  
礼拝もこれと同じ。聖書のお話を聞くと、私たちの心には  
「イエスさまと一緒にいる」という、あたたかい火が灯る。目  
には見えなくても、イエスさまはいつもそばにいてくださる。  
礼拝が終わっても、イエスさまはずっと一緒に。明日からの学校  
にもついて来てくれる。だから日曜日は教会で「心の力」を  
いっぱいいただいて、また一週間を元気に過ごそうね！